

SPring-8 セベラルバンチ運転モード「Hモード」の構造の一部変更について

公益財団法人高輝度光科学研究センター (JASRI)
研究調整部
利用推進部

2016A 期 (2016年4月～) より、SPring-8ビームラインにおいて時間分解実験等を行うシングルバンチユーザーのために提供しているセベラルバンチ運転モードの一つである Hモード (11/29-filling + 1 bunch) のうち「11/29」の部分に関し、これまでの連続バンチから6バケット間隔の構造に変更します。

具体的には、Hモードの「11/29」の部分 (924バンチ × 0.1 mA) の構造が、これまでの連続から 406 × 11/29 (154バンチ × 0.6 mA、11.8 nsec (6バケット) 間隔の406バンチライクな構造) に変更となります。

モード名	Bunch Mode	Bunch Interval	Total Current	Single Bunch Current	Beam Injection Interval
Hモード	11/29-filling + 1 bunch	1486 nsec	100 mA	5 mA～	40 seconds



Hモード	<u>406 × 11/29-bunches</u> + 1 bunch	<u>11.8 nsec,</u> 1486 nsec	100 mA	<u>0.6 mA,</u> 5 mA～	40 seconds
------	--------------------------------------	--------------------------------	--------	-------------------------	------------

変更によるメリットとしては、共用 BL09XU の核共鳴実験ユーザーで Aモードを選択されているユーザーの一部が、運転モードの第2希望で Hモードを選択することができるようになります。これにより、バンチモード割り振り (利用日設定) の自由度が増すこととなります。当該変更によるデメリットは、今のところ特に見当たりません。

詳細は下記 URL (SPring-8セベラルバンチ運転モード対応表) をご覧ください。
http://www.spring8.or.jp/ja/users/operation_status/schedule/bunch_mode

以上